

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大	事業	051	学校給食管理事業	中	事業	06	三国学校給食管理事業		
小	事業								他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-2	学校教育の充実		三国学校給食センター
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	学校給食法、学校給食衛生管理基準			
根拠例規	有	坂井市立学校給食センター条例、同条例施行規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市総合計画、坂井市教育振興基本計画、坂井市食育推進計画			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 「園児・児童・生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。

【事業の概要】
 中学校1校（三国）、小学校6校（三国南・三国北・雄島・加戸・三国西・木部）、幼保園3園（みくに未来・加戸・三国南）、こども園1園（雄島）の計11施設に給食を提供する。なお、幼保園、子ども園に係る費用については保育園費にて対応している。

- 需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕費、賄材料費） 115,698千円
- 役務費（通信運搬費、手数料、保険料） 1,104千円
- 委託料（施設整備等各保守点検委託、給食配送業務委託） 17,564千円
- 使用料及び賃借料 62千円
- 備品購入費（給食用備品） 198千円
- 負担金 3千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	143,629	132,307	147,367	11,322
	人件費	108,570	112,919	111,479	△ 4,349
	総事業費	252,199	245,226	258,846	6,973
人員	正職員	13.00 人	13.00 人	14.00 人	0.00 人
	臨時職員	12.11 人	12.00 人	12.10 人	0.11 人
	人員計	25.11 人	25.00 人	26.10 人	0.11 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	92,109	91,367	95,748	742
	一般財源	160,090	153,859	163,098	6,231

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	地場産食材使用率	%	目標	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
			実績		54.1	64.6	61.5	52.2
			達成率(%)	0.0	108.2	129.2	123.0	104.4
指標の説明		地場産（県産）食材の使用率						
指標	地場産食材を使った加工品	品	目標	8	8	8	5	5
			実績		6	12	5	5
			達成率(%)	0.0	75.0	150.0	100.0	100.0
指標の説明		地場産（県産）食材を使った加工品目数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	地場産を中心とした安全・安心な物資の購入を基本に、美味しく栄養バランスのとれた学校給食の提供に努めました。農業関連団体、地元生産者等と連携し、安定した納品に努めましたが、大雪の影響等により、前年度を下回りました。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題 ・地場産食材は気象条件に左右され、数量の確保が難しいことから、食材の確保について、関係機関との連携が必要であります。 ・施設開設後30年以上が経過し、施設設備等が老朽化してきており、給食を調理するために修繕等が必要になり限られた予算の中で職員が対応しています。
これまでの見直しや改善等の実績	・地場産を中心とした安全で新鮮な食材による新たなメニューを取り入れるなど、美味しく栄養バランスのとれた学校給食を提供しました。また、昨年に引き続き、地元で旬な時期にとれる食材について、関係機関と調整するなど、積極的に食育及び地産地消に取り組みました。 ・施設の老朽化による修繕等が多くなってきていますが、故障時には速やかに対応し、現状を維持するよう努めました。

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容（小事業）	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	三国学校給食管理事業 三国	改善（見直し）	三国学校給食センターの新設により、より効果的、効率的に学校給食を提供できるよう、春江坂井学校給食センターを含めた配送校を見直しし、令和2年度から、中学校1校、小学校9校、幼保園3園、こども園1園の計14施設に給食提供を予定しています。また、調理業務を委託することとし、民間のノウハウと活力の導入を図り、業務の効率化と安心安全で安定的な学校給食を提供します。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	改善（見直し）	方向性の理由	三国学校給食センターの新設により、令和2年度から、中学校1校、小学校9校、幼保園3園、こども園1園の計14施設に給食提供を予定しています。また、調理業務を委託することとし、民間のノウハウと活力の導入を図り、業務の効率化と安心安全で安定的な学校給食を提供します。
目標年度 令和2年度			
中長期的な方向性	継続		
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ		施策	
	施策項目			
実施事業名（小事業）				
事業で得られたノウハウや気づき等				